


提出 順番	No. 11	平成 29 年 11 月 27 日 午前・午後 / 時 00 分受領
----------	-----------	---------------------------------------

平成 29 年 11 月 27 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

幕別町議会議員 東口 隆弘 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>認知症予防対策について</p>	<p>高齢ドライバーによる交通事故、徘徊による行方不明、誰にも看取られることなく逝く孤立死 - 「認知症」が一因とみられる事件・事故が年々多く発生している。</p> <p>平成27年1月に国が策定した「認知症施策推進総合戦略」いわゆる新オレンジプランでは、我が国の認知症の人の数は、2012（平成24）年で約462万人、65歳以上高齢者の約7人に1人と推計している。そして、その数は団塊世代が75歳以上となる2025（平成37）年には約700万人前後になり、65歳以上の高齢者に対する割合は現状の7人に1人から5人に1人に上昇する見込みとしている。</p> <p>厚生労働省では、2025年における認知症の予備軍とされる軽度認知障害（MCI:Mild Cognitive Impairment）の数は明らかにしていないが、580万人を超えるとの試算もあり、65歳以上の実に3人に1人が認知症あるいはその予備軍になるという「認知症1300万人時代」を迎えようとしている。</p> <p>新オレンジプランでは、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すという基本的な考え方を示し、施策の方向として7つの柱を掲げている。中でも、認知症の早期発見、早期治療が重要と考え、以下の点について伺う。</p> <p>① 町の現在の要介護認定において認知症と判定された人数と65歳以上高齢者に対する出現率は。また、同様に40歳から64歳までの人数と出現率は。</p>

	<p>② 「第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に位置づけられた認知症の総合的な対策への取組の実績と評価について</p> <p>③ 現在策定が進められている「第7期介護保険事業計画」において、本年7月に数値目標が更新された新オレンジプランを受け、どのように施策を推進しようと考えているのかについて</p> <p>④ 軽度認知障害（MCI）の状態でももしないでいると、3～4年後に半数以上の人々が認知症を発症するといわれている。認知症の新たな発症を防ぐためには、MCIの人を早期に発見し、予防することが重要といわれている。</p> <p>認知機能テストを行いMCIの人を早期に発見し、道内23の市町村で、十勝管内でも上士幌町、士幌町、浦幌町、池田町、音更町、更別村の6町村で取り組んでいる「地域まるごと元気アッププログラム」（略称：まる元）に取り組む考えは。</p>
--	--

（注）質問の要旨は、具体的に記載すること。